

yamabuki 通信

yamabuki は、『小学校でのパソコン授業』の URL より
パソコン室から 不定期 発行

No.6 1
平成 19 年 10 月 11 日
情報教育アドバイザー
広田 さち子

二つのすごろく (2 年生の授業から)

ここに、ワードで作った二つのすごろくがあります。どこが違うでしょうか？

……

違いは一目瞭然ですね。

それでは、すごろくとして見たとき、どちらが「いい」すごろくでしょうか？

……

答えは、 です。

理由は、すごろくの遊び方を考えるとわかります。すごろくは、1人で遊ぶものではありません。複数の人がすごろくを囲んで遊びます。すると、のすごろくでは、「ちゃんと」見えるのは、「はじめ」の辺に座った人だけです。では、どこに座っても、字が自分の方に向かっているので、遊びやすいです。



すごろく

この「しりとりすごろく」は、オートシェイプ(ワードアート)で図の操作をしながらマウスの上達を目指すと同時に、枠の概念に慣れ、また、楽しく文字入力の練習ができるように考えたものですが、こういったコンピュータスキルだけでなく、何か作るときには、「何を」「何の目的で」作るのか、という意識を持ってしまおう、という、ものを作ることの動機付けも視野に入れていきます。

パソコン室に来て、パソコンを操作して何かするわけですが、最終的には、小学校のうちに、自分のしたいことを達成するための道具としてパソコンを選べるだけの知識と技術を身につけることが目標です。学年相応に使い方を学び、パソコンならどんなことができ、パソコン以外の手段を使ったときとどう違うかがわかるようになることです。

楽しく無理なく作業をしている間に、これらのことを身につけてほしいと思っています。



すごろく